



令和3年度 宮崎大学教育学部附属中学校 学校経営ビジョン



【学校の教育目標】

真理を探究し、勤労を愛する、気品のある生徒の育成

【めざす学校像】

- 学ぶ感動を味わうことのできる学校
- 「人権」と「命」の尊重を基調とし、生徒同士の絆を深める学校
- 家庭・地域社会と連携した開かれた学校

【めざす生徒像】

（我等の目標）

- 自発的に学び、真理を探究する生徒
- 勤労を愛し、お互いに協力する生徒
- 気品を保ち、健康を増進する生徒

【めざす教師像】

- 自己研鑽に努め、魅力ある教育活動等を提供する実践力のある教師
- 生徒に寄り添い、生徒理解に努める教師
- 生徒・保護者・地域の信頼に応える教師

【学校経営ビジョン】

学び合いのなかで、「真理を探究し、勤労を愛する、気品のある生徒」の育成を目指し、『北斗』のように県内外で活躍できる社会性を育てる学校」を創造する。

宮崎大学附属中学校 5つのチャレンジ

確かな学力の定着・向上

- 学ぶ意欲の向上や知識・技能の習得、思考力・表現力等の育成のために、学び合いの充実に努める。
- 教師の授業力向上、指導の工夫・改善のために研究授業・授業研究会や相互の授業参観、自己研鑽の充実に努める。
- 学習活動の充実にために、教師による ICT の活用の充実と、生徒による ICT の活用場の設定に努める。
- 学習の基盤となる資質・能力（言語に関する能力、情報活用能力等）を育成するために、読解・表現する学習活動等の充実に努める。また、新聞を活用した取組を工夫改善する。

豊かな人間性や社会性の育成

- 人間性や社会性の向上、人権意識の高揚を図るために、道徳科を要とした道徳教育の充実に努める。
- 振り返りを重視したキャリア教育を推進する。
 - ・ 体験したことに自ら意味を見出す力を育む。
 - ・ 学習したことを自ら活用できる力を育む。
- すべての生徒の社会的自立を目指した指導・支援に努める。
 - ・ 総合的な学習の時間を中核に、生き方を考える力を育む。
 - ・ 自己決定の場を保障した生徒指導を推進する。

特別支援教育の充実

- 生徒一人一人の実態把握に努め、適切な指導・支援の方法について職員研修を行い、共通実践に努める。
- 個別指導の充実に図り、生徒の困り感の軽減に努める。（アセスメントの実施、昼休み時間の個別指導、通称もうもうルームの活用：充実）
- 特別支援学級と通常の学級との積極的な交流及び共同学習を推進する。
- 特別支援学級において、将来の自立や就労につながるキャリア教育の充実に努める。
- 特別支援学級において、体験的な学習とともに、学びを深める教科指導の充実に努め、生徒の自己有用感を高める。

体力の向上、健康・安全の充実

- 保健体育科の授業や体育的行事をととして、体力向上の充実に努める。
- 保健便りによる健康安全に関する啓発を図る。
- 保健体育科の授業、学級活動や集会等をととして、性に関する教育の充実に努める。
- 保護者、学級担任、養護教諭の連携を図り、保健室の機能を生かした適切な指導・支援を行う。
- 危機管理マニュアルをもとに、防災訓練や職員研修、安全点検の実施をととして、安全で安心な学校づくりに努める。

家庭や地域との協働の充実

- 学校 HP や学級・学年通信等で授業や行事のようす、公開研究会の案内や配付文書等の情報を提供するとともに、各家庭にアンケートを実施し、学校に係る課題等について改善を図る。
- 地域に寄り添った生徒会・各種委員会等活動を実施していくことで、地域への貢献活動を推進する。
- 県・市教育委員会と連携し、教員研修の中核となる授業提案に努める。

附属学校園 幼小中一貫教育

附属学校園の使命 教育実習

宮大との連携 中期目標 共同研究

教育関係機関との連携